

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BAT POST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

 2025
 09
 SEPTEMBER

第38回広島県経営研究集会

経営フォーラム2025

人を生かす経営の総合実践で地域と共に変化に挑む!

2025年10月7日(火)開催

 誰もが輝く
 21世紀型
 企業づくり

 県総会・経営フォーラム
 実行委員長
山西 健三
 映クラ倶 代表取締役

Contents

	●新会員紹介	P.01
TOPICS.01	●経営フォーラムPR	P.02-03
TOPICS.02	●全国総会in神奈川	P.04
TOPICS.03	●広報ラボ	P.04
	●地区だより	P.05-10
	●部会だより(青年部)	P.10
	●委員会だより(経営労働委員会 他)	P.11-12
	●どういうグルメ	P.13
	●支部理事会報告	P.14
	●行事カレンダー	P.15

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

 私たちで創ります 私たちの学び舎を
 ～いまこそ主体的に動こう～

 (一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
 発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

 〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
 TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
 URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

NEW
MEMBER

新会員ご紹介

7月
入会



建設業
富士建設(株)
執行役員 土木部長 (後継者)
嘉手苺 宗志 氏 (I)

紹介者

ソーホーアワムラ 栗村 光範 氏

はじめまして!富士建設(株)の
嘉手苺(かてかろ)と申します。弊
社は福山市を中心に建築・土
木工事の施工管理を主に行っ
ている建設会社です。

同友会の3つの目的を目指
し、必要な知識を学びたいと
思っています。よろしくお願いいたします。

9月
入会



保険業
三備(有)
取締役
高木 玲音 氏 (D)

紹介者

映クラ(株) 山西 健三 氏
(有)阿吹運送店 阿吹 成駿 氏

はじめまして。三備有限会社
の高木と申します。

弊社は、昭和58年から、東京
海上日動の保険を取り扱いし
ている、専業保険代理店です。

人間的にも、経営について
も、先輩方から勉強させていた
だきたいと思っています。よろし
くお願いします。

組織委員会 × 青年部 共催

次回新会員オリエンテーション!

10月3日(金) 19時 00分

会場：ローズコム

報告者 **原田 祐一郎 (K地区)**

人に気づかされた同友会活動
～5年間の自己開示～

「ようこそ、同友会へ!」会員一同、新会員の皆さまを
心より歓迎申し上げます。「3つの目的～良い会社、良い
経営者、良い経営環境」の実現に向け、共に切磋琢磨し
ていきましょう。さて、ご入会を機に、少しでも早く同
友会の活動に慣れると共に、同友会の目的・理念・歴史
を正しくご理解していただくために、
「新会員オリエンテーション」を開催い
たします。ご入会いただいた方には、
早いうちに必ず1度は受講いただくの
が「新会員オリエンテーション」です。
ご多用中とは存じますが、ご参加を賜
りますよう、ご案内申し上げます。



ペアコム (株)
梨木 彩加 (P)



第38回広島県経営研究集会

(創立52周年記念行事)

経営フォーラム2025

人を生かす経営の総合実践で 地域と共に変化に挑む!

誰もが輝く
21世紀型
企業づくり



物産展
開催!!

日時 2025年10月7日(火) 開会13:00 閉会20:30

会場 リーガロイヤルホテル広島

(基調講演・分科会・懇親会)

広島市中区基町6-78 tel: 082-502-1121

TKP広島本通駅前カンファレンスセンター

(分科会)

広島市中区紙屋町2-2-12 tel: 082-258-1501

会費 全参加(基調講演・分科会・懇親会).....12,000円

基調講演・分科会のみ.....4,000円

主催/一般社団法人広島県中小企業家同友会・広島県

後援/広島市 福山市 府中市 呉市 尾道市 東広島市 三原市 廿日市市 三次市 庄原市 安芸高田市

府中天満屋・クロスロードみつぎ発 貸し切りバス有: 申し込みは事務局まで(往復¥4,000)

スケジュール

- 13:00 開会
開会あいさつ
- 13:15 基調講演(95分)
- 14:50 移動・休憩(20分)
- 15:10 分科会
- 18:40 分科会終了
移動・休憩(20分)
- 19:00 式典・交流会(90分)
永年表彰
物産展(予定)
- 20:30 閉会

実行委員長あいさつ



県総会・経営フォーラム
実行委員長

山西 健三
映クラ(株) 代表取締役

本フォーラムは、広島同友会の創立記念行事であり、中小企業の経営課題を広く取り上げ、実践的に学ぶ機会をめざしています。

経営フォーラムを、広島同友会の年間行事で一番、学び合える場所にしたい。多くの人と共に学び合い、語り合い、自社の経営を見つめなおし、経営者として気づき、成長できる場に。「地域を守り、次世代に誇れる豊かな未来を創る」—この想いを胸に、今年のフォーラムのテーマは「人を生かす経営の総合実践で地域と共に変化に挑む! 誰もが輝く 21世紀型どう未来を捉え、地域課題を解決するために、どのように企業を成長させ、地域を良くしていくのか、ともに学び合い、明日からの実践につなげ、中小企業の力によりよい地域をつくり、社員とともに成長する。広島の未来を創る一歩を踏み出しましょう!

基調講演 社会起業家として生きる。

~19歳でホームレス問題を解決しようと決意した~

2010年から活動を開始した認定NPO法人Homedoor(ホームドア)。

ホームレスの方への仕事の提供や個室シェルターの運営など、ひとりひとりのホームレスの方と向き合い、ニーズを拾い上げて社会実装を行う中で、毎年1,000人以上が全国から相談に訪れるようになり、新たに見えてきた課題がありました。

それが「生育格差」です。

相談に来る多くの若者が生まれ育った環境からして大変な

状況にあり、大人になってもその状況から抜け出せず、成人後の公的な支援の少なさからホームレス状態に陥っているという実態。その新たな課題を解決すべく、3億円の借金を背負いながら新しい施設をオープンさせました。そんな挑戦をお話し、一緒に問題解決への道を模索できればと思います。



認定NPO法人
Homedoor
理事長 川口 加奈 氏

第1分科会 企業実践と挑戦(企業づくりと同友会の不離一体)

だから私は動き続ける

私と会社を変えた同友会活動

後継予定者としてペアコム(株)に入社し、新規事業の立ち上げ、経理、総務など業務に追われつつも「課題だらけの会社。社長になるのが不安」と悩んでいた。そんな時、同友会に入会。会社を良くしたい気持ちはあるが、軸が無く「なんのため?」と問われても答えられない。自身の不安や自社の課題を解決するため、県内外問わず様々な同友会会員を訪ね、浴びた言葉をもとに実践。青年部では小組長を受け、同友会活動も真剣に行った。

自身と自社がどう変わったのか、不器用ながらも素直に実践した結果を全力で報告します。



ペアコム(株)
代表取締役
梨木 彩 加氏

第2分科会 企業実践と挑戦(事業承継)

承継から変革へ。
地域と未来を創る熱男の挑戦!

継いで、悩んで、動いた先に見えたもの

事業を継いだからこそ見えてきた、組織の課題、社員との関係、そして地域との距離。

先代のトップダウン経営から社員全員でのボトムアップ経営をめざし、承継後に直面した現実に向き合いながら、理念の再構築、ビジョンの作成、先代や幹部、社員との対話を重ねながら様々な変革を行ってきました。先代との衝突、社員からの反発や不幸な出来事など幾多の困難にも負けず、同友会で学んだことを実践しながら、地域を巻き込んだ新たな事業の挑戦へと踏み出してきました。

そんな熱い男が承継前から現在に至るまでの変革と今後の展望を語ります。



(株)ニホンケミカル
代表取締役専務
原 田 敦 夫氏

第3分科会 経営指針の実践、10年ビジョン

指針書が示す新時代への挑戦
未来をデザインする成功の道

経営指針書を活用し、未来への一步を踏み出したい方へ。

この分科会では、指針書を効果的に活用し、未来をデザインするための具体的な手法と事例を共有します。指針塾オブザイヤー受賞者の高重直文氏(第5期)と金口志織氏(第8期)が登壇。金口氏は成文化の過程で従業員とともに未来を描き、人を巻き込む力を発揮してきた経験を、高重氏は実践課程での取り組みや10年ビジョン実現への成果を語ります。

経営指針書をこれから作る方、実践を深めたい方に、前向きで実践的な解決策を得る場を提供します。



(株)西川組
代表取締役
高 重 直 文氏



(有)ベルエール
取締役
金 口 志 織氏

第4分科会 共に育ちあう(共に学び、共に育つ)

夢中って、最強
栄光を掴むきっかけはいつも自分次第

周囲の反対を押し切って入社した会社は、社員が毎月辞めていく異常事態。数多の壁を越えて心に定めたのは「世の中になくてはならない会社になる」という使命でした。その通過点として、10年後の売上100億円を設定。「できるわけがない」と誰しもが言います。そんな周囲の言葉に惑わされることなく胸にあり続けるのは、命をかけて使命を達成するという「ダンコたる決意」。使命にみせられた社員が集まり、会社はまさに第2創業期へ。社員の可能性を信じて数億円のエデュケーションを行い、社内大学を開校予定。

常に青春を生き続ける上川氏は語る。「夢中って、最強」。



三工電機(株)
代表取締役社長
上 川 博 之氏

第5分科会 地域が輝く企業・支部づくり

『人は変わる!』
自己変革と輝業づくりは不離一体

誰でも持ち帰れる、前向き3つのルール

東広島支部を10年間で、100名から200名にまで成長させた本分科会報告者の田中氏は「同友会に入っていなかったら今の自社は無くなってた」と断言します。

同友会で10年間休眠会員だった同氏が、なぜ一念発起し同友会に参加し始めたのか?人を信用しなかった人間が、失敗を経験値に変え、自分自身を変革させながら成長し、どうやって地域で必要とされる企業となったのか、その原動力は何だったのかを赤裸々に報告してもらいます。

さらに参加者には、本分科会オリジナル「自己変革シート」を使って、やりたいことを見つめ直し、覚悟とは何かを紐解き、一歩踏み出す勇気を持ち帰ってもらいます。



(株)ツインズ
代表取締役
田 中 透 氏

第6分科会 社会課題・地域課題の解決に向けた地域づくり

誰もが最期まで“ごきげんな”社会をつくる
高齢化先進県だからこそ生み出された、
しまねの仕事づくり

高齢化先進県・島根で地域共生型ビジネスを展開するモルツウェル(株)。在宅高齢者向けの配食サービスで目の当たりにしたのは、高齢化社会の過酷な一面でした。この経験から年齢や障害国籍に関わらず誰もがごきげんに暮らせる社会をめざします。

野津社長は「これから確実に未来は変わる企業は地域から逃げず、どう対応していくかを考え、自社の経営を通じて地域の課題解決をめざしています。高齢化・多様化を新たな価値創造の起点ととらえ、地域と企業が共に輝く未来像を描くヒントを得る分科会です。」



モルツウェル(株)
代表取締役
野 津 積 氏

第7分科会 政策、憲章・条例

私たちが望む良い経営環境とは?
中同協「政策提言・要望」から考える中同協「政策提言・要望」は何が実現し、
何を実現しようとしているのか

毎年、政府や各政党に提出している中同協「政策提言・要望」。この機会に具体的な中身を理解すると共に、中小企業が自助努力のもと、健全に発展すべき経営環境の阻害要因は何かを考え、自社の経営課題を考え、経営環境改善の方向性について学びます。



同友会
会長
中小企業家同友会
全国協議会 事務局長
池 田 泰 秋氏

お問い合わせ お申し込み先

- ☐ 一般社団法人広島県中小企業家同友会本部・広島事務所
〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F
TEL.082-241-6006 FAX.082-241-6007
- ☐ 福山事務所
〒720-0066 福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテルB1F
TEL.084-923-0286 FAX.084-923-0284
- ☐ 呉事務所
〒737-0046 呉市中通4-4-7 笹兵衛ビル101
TEL.0823-23-9711 FAX.0823-23-9141
- ☐ 東広島事務所
〒739-0015 東広島市西条栄町6-18 CRUXビル2F
TEL.082-430-7108 FAX.082-430-7109

申込締切 2025年9月26日(金)

注意事項 9月27日(土)以降のキャンセルは会費を全額ご負担いただきます。参加申込書にご記入の上、同友会事務局までFAXでお申し込みください。参加申込はe.doyuからも受け付けています。本行事の模様を撮影・記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの顔写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら同友会事務局までご連絡ください。

02 DO-YU TOPICS

中同協第57回定時総会in横浜 参加報告



■日時: 7月3日(木)～4日(金) ■会場: パシフィコ横浜

「全国行事に参加すると、質の高い経営者、経営実践に触れることができる」とよく言われますが、実は私自身今まで「質の高い経営」とは何がどうなった状態なのか、正直なところうまく言語化できていませんでしたが、総会に参加して、少しクリアになりました。

会場はみなとみらいにある「パシフィコ横浜 会議センター」。一つの会議場で全ての行事と懇親会までできてしまう巨大施設に圧倒されながら、13時より全大会、そして14時半からの分科会に出席しました。「労使見解」発表50年ということで、各分科会とも「人を生かす経営」の精神を織り込んだ内容だったようです。私が参加したのは第7分科会。「共に育つ」を大きなテーマとして、「経営指針の確立はグループ討論から」というキーワードで進められました。

報告者は中同協環境経営委員会副委員長で宮城同友会の株建築工房 零代表取締役 小野 幸助 氏と、同友会大学顧問を務めておられる8Lゼミナール代表村尾誠氏でした。小野氏の会社株建築工房 零は、地域の特性を生かして最小限のエネルギーで快適に過ごすことができる家の設計施工を行っています。地域に仕事を作り若者を残すために毎年社員を採用し、社員大工14人中12人が新卒採用だそうです。そして社内のベクトルを揃えるために理念・ビジョンの共有が必要、そのために社内のグループ討論を活用されているとのことでした。グループ討論(対話)により、お互いに問いかけ一緒に考える場が作られているのだと感じました。

村尾氏はかつて教師として労働争議など華やかな時代を経験し、学生に迷惑をかけながらデモに参加していたが、後年同友会理念に出会い、同友会の「答えのない問い」を追求する姿勢に共感して現在では各地同友会大学にかかわっておられます。タイパ・コスノが重要視され人々との関係性が薄れがちな現代ですが、人々とのつながりが創造性を生み、良い物を作り上げる。そのために対話が必要なのに変わりはなく、それを実現するためにグループ討論がある、というお話をされました。

2日目は中小企業家同友会全国協議会 顧問の鋤柄修氏の特別講演と、数百人が数十テーブルにランダムに座っての大グループ討論大会。私は昨日に引き続き2日連続のテーブル長で深い学びをさせていただきました。

全国行事で報告される方々は、「良い会社・良い経営者・良い経営環境」実現のための実践は当然されながら、さらにその先の「自社の活動を通じて世の中をよくする」というところまで社内で共有し、実践できているのだとわかりました。グループ討論に参加された会員の中にも高い志を社内で共有されている方が多くおられ、全国行事は私たちが普段見えない遠くの景色を見させてくれる「望遠鏡」だと思います。忙しい日常の中、時間を作るのはなかなかハードルが高いと感じられる方も多いと思いますが、やはり1年に1回は何かの全国行事への参加をご検討いただければと思います。



(株)豊田工業所
豊田 克浩(D)

03 DO-YU TOPICS

広報ラボの感想

■日時: 8月23日(土) ■参加者数: 220名 ■会場: SENDA LAB (広島大学東千田キャンパス)

広報ラボ

会員、地域の経営者など共に中小企業におけるSNS、クラウドファンディング、メディア活用、AI、画像撮影、求人事情、DXなど広報に関連する勉強会に参加しました。

支部以外の行事は刺激的でした。次は10月7日の経営フォーラムに参加します。



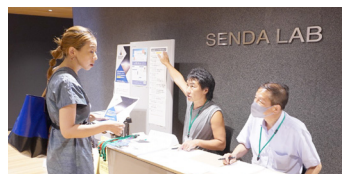
クイックマッサージ
ディライト
春名 孝一郎(F)



広報フェスの脳、藤本さん



温かく見守ってくれた部長



事務局さんありがとうございます



現場を仕切る安定の白井さん



事務局さんありがとうございます



事務局さんありがとうございます



イシケン様さんのクラファン講座



広報フェスの生みの親



全体写真

A

地区会

A地区8月例会

■日時:8月17日(日)

■会場:福山富士自動車

■参加者数:10名

A地区8月例会は、納涼懇親会として、BBQを開催いたしました。毎年8月は懇親会を開催していますが、今期は他地区からの移籍でA地区には入られた方、入会2年未満の方が増えてきているので、普段の活動やグループの枠を超えての交流を目的の一つとしていました。参加者10名の中で他地区からの参加もあり、A地区への加入2年未満の方3名の参加もいただき、更には運営や準備にもご尽力いただいた方もおられ、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。

「参加できてよかった」「今後も積極的に参加していきたい」など例会後の皆さんからの一言もあり納涼懇親会という内容

でしたが、参加いただいた皆さんにとってもとても有意義な時間だったのではないかと思います。

ベテラン会員さんをはじめとし、いつも会活動の中心となっている幹事会の皆さん、設営、運営を含め8月の例会の開催にあたってご尽力くださいませありがとうございます。

今期もまだまだ活動期間がありますので、A地区の皆さんにとってさらにより会活動ができるよう私も幹事の一員として微力ながら邁進していこうと思います。



ヨシケン
亀川 勲(A)



B

地区会

「しくじり先生セイキチ君」

■日時:8月19日(火)

■会場:ローズコム

■参加者数:41名

報告者

(有)清吉コーポレーション
吉清 政之 氏

B地区8月例会はローズコムにて「しくじり先生セイキチ君」というタイトルで、(有)清吉コーポレーション 吉清氏に体験報告してもらいました。体験報告では吉清さんがこれまでしてきた色々な事業、人間関係、失敗談を報告されて、グループ討論では、「異業種が集まりあるものを活かして、新しい価値をつくらう!」をテーマに討論していきました。

今ある事業から新しい事業を始める事は社員がいて難しい人もいれば、1人だから色々な事業ができる人もいました。

今回同友会に入って初めての担当小組例会で途中からの参加でしたが大変勉強になりました。これからB地区の活性化に貢献できればと思います。吉清さん、橘高組の皆さんお疲れ様でした!



(株)実政
実政 情二(B)



D 地区会

“社員と向き合う”を学び、実践した経営改革

■日時: 8月20日(水)
■会場: 市民参画センター
■参加者数: 28名

報告者 (株)川瀬工具店 油藤 智子 氏
(S 地区)



8月例会はS地区から(株)川瀬工具店 代表取締役の油藤智子氏より“社員と向き合う”を学び、実践した経営改革をテーマに報告いただきました。

元々は会社を継ぐ気はなかったが親戚に会社を取られたくないという強い思いから大学卒業後会社に入社。入社当時は父親と仲が悪かったが2019年に同友会に入会しそこで先輩会員から「まずは社長であるお父さんとしてしっかり話し合うべきだ」との助言で父親と本気で向き合うことを決意。その結果、2023年4月に代表交代し社長に就かれました。

社長就任当初は社長の熱いやる気と社員の方向がまるで違っていた。それを見て「5年後に変わらなければ会社をたたもう」と決意。がむしゃらになって動いたが成果は出ず、そんな時青年部の企画で経営指針を作り会社で発表。その結果、社員のモチベーションが上がり、みんなが数字を見るようになった。社員からいろいろな意見がでるようになった。この時自身の心に決められていたことが、とにかく課題から逃げない。同友会で学んだことを実践する。ときおりユーモアを交えてパワフルに報告して頂きました。

グループ討論では「明日から何を実践しますか?」では、とにかく

く問題から逃げない、気づいた課題を先延ばしにしない、社員と向き合うなど、新しく気付いた課題、進行中の課題について語り合いました。

最後の閉会のあいさつで山西副地区長から「小組から盛り上げる」という言葉がありました。例会内で報告者の方から指摘があり、小組内でのコミュニケーション不足が原因です。僕自身同友会に入会して今回が3回目の例会だったんですが、実際流れもわからず他人事のように見ていたところがありました。今後は全て自分事と捉えどんどん意見、連絡、確認していきます。貴重なご指摘ありがとうございました。

エイト
新田 将志(D)



E 地区会

(株)ブレイブ 代表取締役 江見 知哉 氏 自己紹介発表

■日時: 8月19日(火)
■会場: ローズコム
■参加者数: 22名

報告者 (株)ブレイブ 江見 知哉 氏



今回は、(株)ブレイブ 代表取締役の江見知哉さんに、報告いただきました。江見さんは今年3月に入会されたばかりで、例会発表としては非常に早いタイミングでしたが、内容は想像以上に濃く、学びの多い時間となりました。

(株)ブレイブは、2019年創業で解体工事や新築・リフォーム外構工事を手掛けておられます。報告の前半では、タカラ装飾(株) 高橋氏の紹介で同友会に入会された経緯や、設立前のご経験、現在の事業の様子など、写真を交えて丁寧に説明されました。ひとつひとつの現場に対するこだわりと誠実なお仕事ぶりが伝わり、日頃のお客様からの高い評価にも納得の内容でした。

また、ご自身の会社の強みとして「解体から外構まで一貫対応できること」「対応スピードの早さ」「高いリピート率」を挙げられていました。一方で、新規顧客の開拓、体調・事故リスク、そして最大の課題として「社員の定着」が今の大きな悩みであると率直に共有されました。

印象的だったのは、例会準備期間中に社員2名が突然音信不通となり退職されたという出来事。20代の社員さんからは後日、長文のLINEで感謝とともに本音が綴られたとのことで、江見さんの戸惑いや悩みが非常にリアルに伝わってきました。

討論テーマは「社員が辞めない会社にするために取り組んでいくこと」。経営指針の共有や働く楽しさを伝える工夫など、同友会らしい本質的な意見が多く出て、白熱した討論となりました。

例会後の懇親会でも多くの方が江見さんをフォローされており、E地区の温かい空気を改めて感じる機会となりました。

今回の例会を通して、私自身も「社員にどんな未来を示しているか」「普段どんな気持ちで働いてもらっているか」といった大切な視点を見直すきっかけとなりました。江見さん、貴重な報告を本当にありがとうございました。



(有)アサヒ
フィルタサービス
宮崎 裕大(E)



F 地区会

金融機関の立場で伝える「売る」「買う」 両者の視点～M&Aの裏側と本音～

■日時:8月20日(水)

■会場:ローズコム

■参加者数:33名

講師

(株)広島銀行 ソリューション営業部
国信 有一 氏

2025年8月20日(水)「金融機関の立場で伝える”売る”買う”両者の視点～M&Aの裏側と本音～」について、(株)広島銀行 ソリューション営業部 国信有一氏にご登壇いただき、講師例会を行いました。

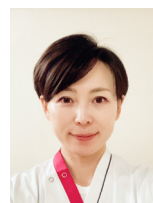
今回の講演では、

- ・M&Aとは何か(合併買収)
- ・M&Aの種類(株式譲渡、事業譲渡、会社分割、合併など)
- ・M&Aの目的(新規事業参入、事業拡大、人材の確保、技術の確保など)

実例を踏まえて大変わかりやすく説明していただきました。特に成功例からは、M&Aは単なる買収や承継ではなく、技術・人材・販路など、自社に不足する経営資源を補う視点が重要であると分かりました。また、数字の合致だけではなく、理念や組織風土の相性を見極めることが成否を分けることを学びました。その他にも、『多くのM&A会社がある中で、実績だけではなく、いかに担当者が信頼できるかがM&A会社選びの重要なポイントである』と国信氏。単なる数字の交渉ではなく「人の気持ち」を繋ぐ役割をされているのだと感じました。

総括を述べた和田副地区会長は、売る買うだけでなく、自社の価値を知り、売れる会社に自社の価値を上げることも重要との事。参加者一人ひとりが自社の未来を考える大変有意義な講師例会となりました。

最後に、お忙しい中ご登壇くださった国信有一様、貴重な講演をありがとうございました。



(株)せとうち
三上 彩香(F)



G 地区会

「家族例会&納涼会」 ～餅つきと和菓子作りで親睦を深めよう～

■日時:8月20日(水)

■会場:家族例会 = 御菓子所勉強堂 川口店
納涼会 = 食楽夢家 吉歩

■参加者数:34名

講師

(有)勉強堂 山本 裕司 氏
(株)ばらもち本舗 千萬喜家
越智 陽介 氏

8月例会は、会員とそこご家族、そして社員さんのご家族との交流を目的とした、夏ならではの“家族例会と納涼会”を行いました。

家族例会では、餅つき体験からスタート。子どもたちの楽しそうな笑顔はもちろんのこと、会員の皆さんも一緒になって笑顔があふれていた光景がとても印象に残っています。

続く和菓子作り体験では、子どもも大人も真剣な表情で取り組み、G地区会員も悪戦苦闘しながらも、楽しそうに和やかな時間を過ごしていました。普段の例会ではなかなか見られない一面もあり、貴重な時間となりました。

納涼会(食楽夢家 吉歩)では、美味しい料理とともに、日頃の

近況や仕事の話を交えながら、リラックスした雰囲気での交流が深まりました。普段あまり会話する機会の少ない会員同士や、ご家族同士の新しいつながりも生まれていたように感じます。

今回、会場として当店「御菓子所勉強堂 川口店」をご利用いただきありがとうございました。慣れない準備にあたふたする場面もありましたが、皆さまのあたたかいご協力のおかげで、無事に開催することができました。これからも、家族ぐるみで気軽に参加できるように、あたたかい場づくりを大切にしていきたいと思っています。



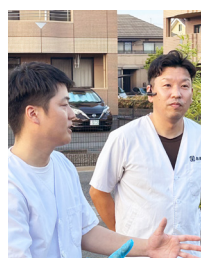
子どもたちも真剣な眼差し



チャレンジ！体験学習



仲良く家族でお菓子づくり



講師:越智氏(左)
山本氏(右)



大人も子どもも興味津々



初めてのお餅つき



(有)勉強堂
山本 裕司(G)

I 地区会

強固な肉体をつくる会社紹介 ～納涼会～

■日時:8月18日(月)
■会場:バンズグリル
■参加者数:17名

報告者 バンズグリル 小川 尚範 氏

I地区会の8月例会は「強固な肉体をつくる会社紹介」としての納涼会をバンズグリルで行いました。

この暑さを乗り切る肉体をいかに作り上げていくかを食材を通じ講師シェフよりお聞きし、美味しい料理を頂き親睦を深めました。

文章で会社紹介というより、今回は、写真での紹介を致します。



フジイ眼鏡店
藤井 努(I)



J 地区会

「俺が俺でいるために」

■日時:8月18日(月)
■会場:ローズコム
■参加者数:17名

報告者 ダイニングバー PitBull
橋本 康一 氏



J地区の8月例会は、ダイニングバーPitBullを経営し、キャベツ栽培の事業にも挑戦しておられる橋本氏の報告でした。青年期から現在のバー経営に至るまでの様々なご経験とご職歴から、バーと農業の経営課題と目標を報告していただきました。

橋本氏の経営の根幹は、自身の「俺」という人間性でした。それは果敢な行動力と強い精神であり、一方で経営者としての「俺」の弱点でもあると、ご自身で分析されていました。その部分を補うための従業員との関係構築や仕組み化、ルールづくり、自身の働き方について、参加者とともに考えました。

参加者からは厳しい声が寄せられました。「俺が俺であるために」必要なことはなにか。それは自分が成長するということです。人から信頼される人になるということです。そのためにも、現在の事業に関わる人や課題に本気で向き合う覚悟がいるということでした。

今回の例会で改めて経営者とは何をする人なのか、あるいは何をしない人なのかということを考える契機になりました。ありがとうございました。



鍛冶屋農園
赤木 昭弘(J)



K 地区会

小さな企業の知恵をつなぐ場づくり VOL.2 「競争ではなく共創による新市場の創造」

■日時:8月20日(水)
■会場:事務局
■参加者数:12名

報告者 (株)福山楽器センター 新庄 一貴 氏

5月にK地区例会で、「小さな企業の知恵を繋ぐ場づくり」というテーマで、企業間のノウハウの共有を行いました。この8月例会はその「続き」という位置づけのシリーズものです。地区例会のグループ討論で「新たな市場の創造」を目指します。グループ内で、各企業の課題を見つけることと解決方法についてお互いに意見交換を行いました。

私が参加した4人グループでは、救急救命士の大原さんから、「介護タクシーの稼働を上げたい」という、私にとってはなじみのない事業分野の課題が提示されました。いまのプロモーション方法は、エンドユーザーに対して広い範囲で行っていま

す。いかにお金をかけずにアプローチできるかを模索しているところだそうです。しばらく話が進んでいくにしたがって、「体の自由が利かなくなった人の、人生最後の望みを叶えたい」という思いが見えてきました。商品イメージは「人生最後の旅行」です。それなら、アピールすべき相手はエンドユーザーや医療・介護事業者ではなく、観光事業者なのではないかというアイデアが出てきました。

数十分間のセッションでしたが、収穫のある重役会議になりました。



池永 経営(株)
田中 秀穂 (K)



P 地区会

「森上、社長復帰したってよ」 ～起業からM&Aを経た現状とこれから～

■日時:8月21日(木)
■会場:ローズコム
■参加者数:20名

報告者 (株)アルファ保険サービス
森上 一弘 氏



P地区8月例会は『森上、社長復帰したってよ』と題し、(株)アルファ保険サービスの森上一弘氏に体験報告をして頂きました。

森上氏自身が経験してきた事、それが今に繋がり、起業からM&Aを経た現状と、これからについて、等身大の姿で語って頂きました。幼少期に経験した辛い出来事…そんな状況や環境の中でも、常に前を向いて進んで行った森上氏…そんな森上氏がボソッと一言…『勉強するのはタダだから』…正直この言葉には衝撃を受けました。幼い頃から向上心を持って行動していたからこそ、軸がしっかりしているんだな…と感じました。

起業、合併、前社長の死、職員の離職、紆余曲折ありながらも、周りの事を考え利他的に行動する…そんな森上氏が掲げるゴールが…『人を幸せにする会社にする』

そして発表の最後に…『経営者として人を幸せにしたいか?』と問いかげられました。

それをうけ、グループ討論では『幸せ』について、経営者として…誰を? どのように? 社員の幸せとは? そもそも幸せとは何か? …そんな討論が行われました。

幸福感は人それぞれ違うし、個性溢れる経営者が集まってのこの討論テーマは…当然まとまりません。ただ、まとまらないからこそ楽しい討論でした。そして、まとまらなかった討論でもモヤモヤが残らなかった

のは、それぞれの発言が『愛』をベースにしたものだったからだと思います。結局のところ、『幸せ』=『愛』ということだと感じました。

会社経営をする以上、社員であり顧客であり…人との繋がりは切れません。そして、そこには愛が必要だということを、あらためて考える事ができる例会でした。

シンプルな事だけに忘れがちな事を思い出させてくれた森上さんには感謝しかありません。森上さん、今回の体験発表お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



市川 海運(有)
市川 錠治 (P)



S 地区会

「社員の本音と経営者の覚悟 ～社員との信頼関係づくりにもけて～」

■日時:8月20日(水)
■会場:ジーベックホール
■参加者数:23名

パネラー

高橋工芸(株) 高橋 和希 氏
府中硝子
トーヨー住器(株) 江草 徳泰 氏
follow (株) 妹尾 直道 氏

8月例会では、「社員の本音と経営者の覚悟～社員との信頼関係づくりにもけて～」をテーマに、パネラーとして高橋工芸(株)の高橋氏、府中硝子トーヨー住器(株)の江草氏、follow(株)の妹尾氏をお迎えし、小川氏を交えてトークセッション形式で実施されました。

グループ討論では「コミュニケーション」「ストレスチェックの活用」「モチベーション向上への取組」が主な論点として取り上げられました。特に、アンケート等で社員が感じるストレス要因として、「上司・同僚・部下・部門間の人間関係」が上位に挙げられていることから、改めて職場におけるコミュニケーションの重要性が浮き彫りとなりました。

また、ストレスチェックの紹介を通じて、社員の本音を把握する有効な手段であるとともに、結果をどのように職場づくりに活かすかが重要であるとの意見も共有されました。単なる制度の活用にとどまらず、経営者自身が社員と向き合う姿勢や覚悟が信頼関係の構築に不可欠であるとの認識が協調されました。

本例会を通じ、社員との日常的なコミュニケーションの積み重ねが、モチベーションやメンタルヘルスの改善につながることを再確認する機会となりました。今後の組織運営において、実践的に活かしていきたいと考えます。



タカハシサッシ
高橋 洋二(S)



青 年部

かまってちゃんから始まる価値観のシンカ ～ジム経営と自己変革のリアル～

■日時:8月4日(月)
■会場:ローズコム
■参加者数:58名

報告者 (株)キャリーカンパニー 谷村 友飛 氏

青年部会の8月例会は『かまってちゃんから始まる価値観のシンカ～ジム経営と自己変革のリアル～』というテーマで(株)キャリーカンパニーの谷村友飛氏の報告でした。

立場上は会社の代表ではなく、一事業部の責任者というポジションの中、本人が任されてやっているジムニーランド(スポーツジム)の紹介から入りました。まだまだ20代前半と若く、自分の趣味であった筋トレから縁があり今の仕事をしているのですが、業績が上がらず試行錯誤して売り上げをあげるために取り組んでいるという話からでした。

ただ報告の本質はそこではなく、谷村氏が同友会に入会してたくさんの経営者と出会う中で経営者はカッコいいというイメージがあったのですが、そんな中自分に足りていないもの、何を目指しどうしていきたいかということがはっきりとしてませんでした。事業をするうえでどう行動するか、どう判断するかというときに芯(ビジョン)が必要不可欠だと気付くも得たとのことでした。

そのため報告の発表が決まったあと他の経営者に会い、話し、そして自分のやりたい事、ビジョンを明確にするために汗を流していました。すぐに行動に移せたこと、そして横のつながり

を通じて経営者に出会えることが改めて同友会に入会していることの強みでもあると考えさせれるとともに、まずは自分のことを知り、そして行動に至ったことで成長があるのだと、報告を通じて意識させられました。

他の会員からは厳しい意見も出てはいましたが、報告作りの関りや自分をさらけ出すというところが青年部会ならではの良いところでもありました。

まだまだ粗削りではありましたが、谷村氏が自分のビジョンを持つことによって今後の事業への取り組み方や行動が変わってくるのではと感じました。



サークルベース
住吉 謙一朗(J)



経営労働 委員会

経営のキホンの“キ”シリーズ「経営基礎講座」東部エリア第3講

「企業変革支援プログラムで自社の立ち位置をはっきりさせよう」

■日時:8月7日(木)

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■参加者数:41名

講師

(株)デイ・ディライト 藤原 克明 氏 (広島西)

今回参加させていただいた企業変革支援プログラムでは、企業の近代化と強靱な経営体質を築くために、経営の羅針盤として活用することが大きなテーマとなりました。プログラムは、動画での講座2本、ワークショップ、意見交換、発表という構成で行われ、非常に充実した内容でした。

特に印象に残ったのは、発表の中で経営者と従業員の意識や課題の違いが浮き彫りになったことです。経営者と現場の意識のギャップに気づくことができ、その違いを理解することが、今後の経営方針を考える上で非常に重要だと感じました。また、同友会内での経営者同士でも評価基準に違いがあることが明確になり、この違いをどのように埋めるかが重要だと再認識しました。

道下副委員長からは、「効果的に成果を出すためには、課題を一つ一つ検討し、実際に自社に活かせる内容を選ぶことが必要だ」とのお話をいただきました。実践に活かすためには、まず自社にとって何が最も効果的かを見極め、しっかりと選択することが重要だと感じました。

このプログラムを通じて、企業の変革には経営者と従業員が共通の課題を共有し、協力して取り組むことが不可欠だということを再確認しました。経営理念や方針をしっかりと伝え、全社一丸となって改革を進めることが強い企業へと繋がると確信しました。

今後は、このプログラムで学んだ知識を少しずつ実践に活かし、自社の成長に繋げていきたいと思います。道下副委員長の言葉を胸に、ひとつひとつの課題に向き合いながら、経営体制の強化に向けて努力していきたいと考えています。



(有)ホームリビング
畑 明宏(P)



バリアフリー 委員会

■日時:8月23日(土)

■会場:事務局・Zoom

■参加者数:14名

講師

福正 大輔 氏

8月のバリアフリー委員会は、夏季休業を避けて日程を調整し、「社会的な障害や病を持つ人と“働く”を考える」をテーマに開催されました。講師は、自身もセクシュアルマイノリティであり薬物依存症の経験者でもある、NPO法人運営者・福正大輔氏。深い自己開示を交えながら、「弱さを共有することで組織は強くなる」というメッセージを軸に、実践的かつ説得力あるお話を聞かせてくださいました。

講演では、依存症・発達障がい・ひきこもり・刑務所出所者など、社会的に不利な立場にある人々と共に働く中で得られた学びが紹介されました。なかでも印象に残ったのは、ミスを繰り返す若手社員に対し、「叱る」のではなく自分の弱さを先に開示するというコミュニケーションの姿勢。これが信頼関係と対話を生み出し、組織改革の第一歩になるというお話に、私自身も経営者として深く頷きました。

また、柔軟な勤務制度やウェルネス休暇制度の導入など、制度設計を通じた「働きやすさ」の追求にも触れられ、多様な人材が安心して力を発揮できる職場づくりのヒントが詰まっていました。「わかってほしい」ではなく、「一緒に考え続ける」というスタンスこそが、これからの経営に必要なのだとあらためて感じさせられました。

終盤には、福正氏による「自分のいいところ・悪いところを制限時間内に10個ずつ挙げるワーク」もありました。自分を客観視するトレーニングとして非常に有意義で、特に“いいところ”をすぐに10個挙げられるような自己肯定感の在り方は、今後意識していきたいポイントです。

多様性は、リスクではなく可能性。個性の違いを強みとして活かす組織や社会に向けて、私たち自身の姿勢もアップデートしていく必要があると感じた、実り多い勉強会となりました。



赤崎行政書士
事務所
赤崎 元昭(G)



■日時:8月8日(金)
■会場:事務局・Zoom
■参加者数:11名

報告者 環境経営委員 9名

8月の勉強会は、先日の環境経営・地球環境交流会でもテーマとなった「地域課題」そして「私たちでつくる私たちの学び舎」に焦点をあてて「地域課題解決の為のビジネス事例共有会」を行いました。

内容は参加者各自が取り組んでいる課題解決型のビジネス事例を3分程度で発表し、グループ討論は具体的に自分が行うとしたらどのように進めるかといったテーマで討論をしました。

勉強会の中で多かった事例は、少子高齢化の現代、社会的弱者を支援する内容が多かったように思います。例えば「車に乗れなくなった買い物弱者」「独居老人世帯」「子育て中のママ」「障害者」「親と暮らせないこども達」に向けた各種支援事業。その他には「空き家の活用・維持管理(空き家問題)」「ゴミ削減のためのレンタル業(広島県の最終処分場の容量圧迫問題)」「熱中症対策やシステム化で働きやすさ向上・生産性向上」「学生と企業の接点を持つ為の学生主体の事業運営(県外流出問題)」がありました。

新しく知ることができた事例も多々あり、目を向けないといけない社会課題・地域課題って知らないだけで山積しているんだなという気付きを得ることが出来ました。

グループ討論では「ボランティアで終わってはいけない、利益の出る事業に」「1社だけではインパクトが弱いので複数社でチームとして取

り組むことで効果が高まる」「根本的に課題を解決する力はないが、前向きに取り組むことで自社のブランディング」「社会課題は国の政策から生まれる」「新規事業のネタを探すために委員会に参加している」など環境経営の範疇を超えて幅広く討論できて、多くの学びを得ることが出来た回になりました。

次回の勉強会は11月14日(金)、小林史明環境副大臣をお招きして、環境経営委員会・政策委員会・地域内連携推進委員会合同の勉強会になりますので、多くのご参加をよろしくお願いいたします。



(株)タカハシ
高橋 克直 (I)



条例プロジェクト

福山市経済環境局経済部と 広島県中小企業家同友会福山支部幹部 との懇談会

■日時:8月19日(火) ■会場:事務局・又來軒 ■参加者数:19名

8月19日同友会事務局にて、福山市と広島県中小企業家同友会福山支部幹部との懇談会が行われました。福山市からは8名、同友会からは11名計19名の参加でした。

この懇談会は7年目に入ります。福山市からは経済総務課、産業振興課、企画政策課、企業誘致推進担当課、雇用労働担当課の皆さんの参加でした。日頃の事務局と福山市との細やかなコミュニケーションも背景にあり、段々と繋がり広がりを実感しています。

懇談会の中身というと恒例になっていまして、それぞれ旬なテーマをお互い発表しあってからグループに分かれて意見交換を行う流れになっています。

まず福山市からは福山みらい創造ビジョンについてのお話がありました。このビジョンは福山市総合計画と福山市総合戦略を一本化したものになります。5年ごとに出されており、今は2021年から2025年度の評価をされており、次の5年の計画を進められているそうです。人口は減少するのは必然だが目標を数万人下回る厳しい状況などが報告されました。(興味のある方がいらっしゃいましたら福山市のホームページでも見れますのでご覧ください。)

私達経営者は、福山市は今どこに向かっているのか?どのようなことに力を入れているのか?しっかり知ることが大事だと感じました。

次に同友会からは先日行われた政策アンケートのまとめを塩出政策委員長が報告され、福山支部の皆さんの声を届けました。このアンケートが今後の施策に活用され、生かされていくことと思います。

その後、グループに分かれて意見交換の時間を設けました。議題の中心は人口減少問題でどうやったら選ばれる街になるのか、経営者側、行政側それぞれの視点で意見を述べ合いました。キーワードとしては「福山駅周辺の開発」「子育て」「産業支援」などができました。福山市にはこんな素晴らしい企業があると知ってもらうこと、知ってもらい仕組みを作ることが大事だとまとめました。

そして場所を隣の又來軒に移し、今度はお酒を酌み交わしながら交流を深めました。以前は雰囲気固めの懇親会でしたが、今は漆川さんの司会の腕もあり、気心も知れているので笑顔が絶えない大変楽しい懇親会になっています。

この懇談会が未来ある福山市への官民一体となつての動きの一步になればよいのと条例制定に向けての一步になればよいと感じています。参加された皆様ありがとうございました。



(有)大下木型製作所
大下 真司 (P)



どいう? グルメ

自薦・他薦問わず、同友会内のおススメ飲食店
グルメ情報を募集中!

各地区の広報委員にお気軽にお声がけください。

2025年7月25日オープン

[春日町] 尾道ラーメン一匠 いっしょう



ガツンと魚介の旨味広がる 930円
味玉尾道ラーメン

見た目は王道の尾道ラーメン。一口すすると、魚介の旨味が広がり、その後に醤油の風味が駆け抜ける。味変用の橙（だいだい）酢とあわせると、まろやかなスープに大変身。



(株)阿呆商会
妹尾 昭宏 (E地区会)

飲食業はスタッフの入れ替わりが激しいとされる中、退職者が少なくどんどん増えたという。スタッフの成長のため、雇用を守るために4店舗目の出店を決意。なぜ退職者が出ないのかと聞いてみるも、本当にわからないと笑う妹尾さん。これからはお店を人に任せながら自身は沖縄にお店を出してゆっくりしたいそうだ。ぜひ食べにいらしてください。

(広報委員 K)



2016年7月オープン

[笠岡町] ガクオン食堂



味よし! コスパ良し!
もつ鍋 1580円 (1人前~)



福山で3番目に美味しいモツを使用とのこと。昆布から丁寧に取った出汁もつ鍋。辛さを自由に調整させてくれるのが嬉しい。シメは特製ちゃんぽん麺。1人前から注文できるので、おひとり様にも愛される看板メニューです。

安くて美味しい居酒屋がテーマのガクオン食堂は、6名のスタッフで、24歳までの若い世代が活躍中。タイミーを活用して今の時代世代に合わせたWワークされる方も在籍しています。売り上げは毎年伸びており、店舗展開も考えています。

近年ではSNS集客に力を入れ、県外からも多数のお客様のご来店があり、城下横丁の中でも年々お客様が増え続けています。(広報委員H)



一日100本以上出ることも...
焼き鳥 (2本) 380円~



ガクオン食堂 代表
久保井 学 (K地区会)



住 広島県福山市春日町 6 丁目 2-47
営 11:00 - 21:30 (L.O)
休 木曜日

住 広島県福山市笠岡町 3-7 城下横丁
営 18:00 - 翌 0:00 (L.O 0:00)
休 月曜日 (ご予約次第では営業可能)

1)【討議事項】

「経営課題と政策要望のアンケート結果の解説」

■県政策委員会のアンケート結果 【県政策委員長 宮崎氏】

- ・7月のアンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございます。県全体では会員数3,000名に対し2,086名の回答、回答率は69.5%となりました。
- ・アンケートは結果だけではなく、①自社や会員企業の立ち位置の確認、②現在の自社の姿と5～10年後の自社の計画とのギャップの確認、③課題に対する行動計画の3つの側面があると考えています。易学では、絶えず何か変化していると考えられています。変化の中での不易流行、自社の中で変わらないものは何か、アンケート結果をもとに今後の自社について考えていただきたいと思います。
- ・まず、県のアンケート結果です。現在の経営状況のDI値は6.0でした。23年7月の3.3から上昇はしていますが、コロナ前の回答にはまだ遠く及びません。1年後の経営状況の見通しは、DI値17.0と前回(1月)から▲4.4となりました。物価高や賃金、不安定な政治経済が影響していると思われます。
- ・従業員の賃金についてです。回答者の66.8%が賃金を上げた、これから上げると回答しました。前回の68.8%からややダウンです。賃金アップを上回る物価上昇が続いています。価格転嫁では、「まったく転嫁できていない」と「1～2割程度」を合わせて63.3%という結果になり、賃金を上げたいが思うように価格転嫁できず、経営を圧迫していることがわかりました。
- ・経営上の問題点では、①人件費の増大(42.8%)、②従業員の不足(32.2%)に続き、税・社会保険の負担増(24.2%)が3位になりました。人件費の増大が多方面に影響を及ぼしています。従業員の不足が減少傾向にあるのは、人材不足の解消からではなく、採用意欲が落ちているのではと考えられます。ただ、依然として従業員の不足に悩んでいる会員がいることは事実です。
- ・資金繰りは1年前のDI値17.8から7.4に下降し、財務に余裕がない企業が増えています。資金繰りが苦しいという回答は33件ありました。
- ・多くの経営者は賃金を上げたいと思っていると考えています。しかし、企業は十分に利益があるから賃上げができます。先日、石破首相は賃上げをすると言いましたが、賃上げが中小企業の利益を圧迫していることが理解されていません。企業が利益を上げてから賃上げをするのが本来のサイクルです。実際に賃金を上げるのは私たち民間企業です。日本の企業の内、99.7%が中小企業です。このことをもっと社会に伝えていく必要があると思います。10月から最低賃金上がり、社会保険の負担額も増え、物価上昇も続きます。
- ・今回のアンケート結果は、県政策委員会として各政党に伝えます。同時に、各社でも自社は何のために存在しているのか社員と共に考え、将来への兆しを掴んでいたきたいと思います。

■福山支部の結果について 【福山支部政策委員長 塩出氏】

- ・福山支部では会員数655名に対し、427名の回答、回答率は65.2%と過去最高の回答率となりました。
- ・アンケートの結果は8/19(火)の福山市との懇談会でも報告しました。福山市からは「アンケートの結果は、できるところから施策に活かしていきたい」と報告があり、外部から期待されていると実感しています。記述式の結果はぜひ皆さんもご一読ください。

■まとめ 【豊田支部長】

- ・グループ討論の様子から、業種業態により景況も様々だと感じました。コロナにより生活、社会が変わったという側面も感じました。
- ・最近、同友会で顔を見ない方の中には、人手不足の影響で現場に出ているため参加できないなど、いろんな背景を持つ方がいらっしゃると思います。一方で、青年部会長からは「参加していない会員に直接声をかけると参加する」という事例も聞きました。
- ・宮崎委員長からは、このアンケートは、自社の立ち位置の確認や同業他社と自社との違いを見ることが活用方法の一つだと話されました。各社の今後の施策と方針にも、ぜひこのアンケートを活用していただきたいと思います。

■経営フォーラムのPR 【藤井友副支部長】

- ・今年の経営フォーラムは、21世紀型企業づくりをテーマにしています。会員の経営課題解決のヒントは、経営フォーラムにあると考えています。分科会の報告者はみんな元気のある経営者・企業ばかりです。経営フォーラムには、自分一人ではなく、経営フォーラムの良さを伝えながら周囲も誘って一緒に行きましょう。
- ・経営フォーラムの福山支部回答者は138名、うち出席は55名、欠席は83名でした。福山支部の議案書には、方針として支部会員の2割が参加しようと掲げています。※各地区の申込状況の報告がありました。
- ・明日以降、私から個別にお電話します。経営フォーラムは経営課題解決のヒントがあります。ぜひぜひ、よろしくお祈りします。

【報告・連絡】

3)委員会

①組織委員会 【杉田委員長】

- ・10/3(金)に新会員オリエンテーションを開催します。11/5(水)の支部例会は仲間づくり例会として組織委員も協力しています。
- ・12月の県組織委員会は、福山城の月見櫓で開催します。現新地区会長と一緒にご参加をお願いします。

②広報委員会 【春名委員長】

- ・8/23(土)の県広報委員会の「広報フェス」にはご参加ありがとうございました。村井副代表理事からは、会内広報がきちんとできているか問題提起もありました。
- ・現在、未提出の原稿をどうするかが課題です。会員名簿アプリでも情報共有していきますので、地区会長さんご協力をお願いします。

③求人社員教育委員会 【葛間求人委員長】

- ・12/5(金)に福山工業高校のガイダンスを開催します。e.doyuでは過去の参加企業に絞って案内を出していますが、参加企業枠には足りません。地区会でもお誘いください。

④バリアフリー委員会 【上堂園委員長】

- ・特別支援学校のバスツアーは、ご協力ありがとうございました。来年も開催しますので、受入・ご参加にご協力をお願いします。

- ・人材不足だから障害者雇用を進めると言うわけではありませんが、10月の委員会ではあいサポート運動の勉強会を、12月は就職困難者をテーマにした勉強会を企画しています。

⑧環境経営委員会 【高橋委員長】

- ・11/14(金)に環境経営、政策、地域内連携推進委員会の合同で、小林環境副大臣を招いて勉強会を開催します。国の施策と私たちの経営がどう関係するのか勉強していきます。

4)地区会・部会

- ・今月の報告はありませんでした。

5)県関係の報告

①県理事会の報告 【豊田支部長】

- ・県の役員選考委員会が立ち上がり、福山からは宮崎政策委員長と私が委員になりました。
- ・会費の値上げについて討論がありました。値上げ前提ではありませんが、県理事会でも意見が分かれています。会費値上げの場合、支部活動費の増額も想定しています。支部活動費は県全体の予算の6分の1です。高い/低いの受け止め方は、会員の同友会の関わり方、参加状況によって変わってくると感じています。個人的には、現状の案ではまだまだ会員一人ひとりに納得いただくには難しいと思いました。会費値上げの前に、無駄を改めて省き、効率化を図るなどの余地があるとも感じています。最終的には学びのため、という視点を持ちながら、今後、皆さんにもご意見をいただく機会があるかと思っています。

②役員研修大学STEP2の開講について 【藤井友副支部長】

- ・今月の広報誌と一緒に案内文をお送りしています。福山支部ではSTEP1の修了生16名が今回の受講対象です。これまでに福山支部では78名が修了、他支部に比べてダントツの修了生を輩出しています。
- ・報告者は中同協の勤柄前会長をはじめ、全国の同友会からお呼び立て、全国行事を広島で開催している感じです。行事が続いていますが、参加して絶対に損はありません。

6)その他の報告

①次期支部理事の推薦について 【田中役員選考委員長】

- ・本日の追加資料で、来期の役員推薦の用紙をお配りしました。先ほど、第1回目の役員選考委員会を開催し、推薦の期日と選考基準を確認しました。推薦用紙は明日8/28(木)に、e.doyuで全会員に配信します。推薦の締切は9/12(金)です。役員選考委員会では、記載の選考基準に沿って選考を進めます。

②支部活動費の執行状況 【田中総務委員長】

- ・7月末で執行の目安33.3%に対し、実際の執行率は33.9%です。
- ・地域内連携推進委員会は、¥30,173-超過しています。県委員会から、7/12のふくやま企業の夏祭りの費用として10万円補助が出るため、予算内に収まる見込みです。
- ・全体的に予算執行はスローペースの状況です。

7)【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(1名)

カワバタローヨ住器(株) 代表取締役 川畑 貴央(J)

事業概要:リクシルの住宅建築資材の販売施工、新築やリフォーム工事の請け負い

■退会希望者(3名)

学校法人穴吹学園 理事長 穴吹 薫(A)

スマイルコネク(株) 代表取締役 片岡 晋英(F)

(株)こんどう電器 代表取締役 近藤 慎二(G)

以上承認されました。

これにより福山支部の会員数は655名になりました。

②経営フォーラムのバス代の補助について 【田中総務委員長】

- ・10/7(火)の経営フォーラムに、S地区からバスを出したいのご意見がありました。正副支部長会議でも共有した結果、地区で出すのではなく、福山支部としてバスを出し、S地区以外の参加者も乗れるようにしては、という結論になりました。
 - ・バスは府中商工会議所発着です。発着場所を追加した場合、バス代が変わるため、利用者は府中に来ていただくことになります。
 - ・総務委員会でバス代の見積を基に、福山支部からの補助について検討しました。見積段階で、バス代の総額は、¥150,540-で、半額の¥75,270-は県から補助が出ます。参加者の利用料、往復¥4,000-×5名、片道¥2,000-×10名で¥40,000-とし、残りの¥35,270-を福山支部の予備費から充ててはどうかというご提案です。
 - ・¥35,270-は予算上の金額で、利用者が多い場合は執行額が低くなります。利用者が少ない場合は、利用料を加算する方向を考えています。
- ⇒予備費の執行について承認されました(正確な金額は経営フォーラム終了後の理事会で再度、承認事項として提案します)

(文責 事務局 本田)

10月行事案内

福山支部 11月例会

ブルーオーシャンへ向かう大航海！

～同友会の学びと実践で会社が変った～

報告者

(有) 広島金具製作所 代表取締役

水ノ上 貴史 氏

日時：11月5日（水）18時30分～21時00分

会場：ローズコム（福山市霞町 1-10-1）

参加費：無料

申込締切：10月28日（火）

水ノ上氏が後継者として入社した当初、先代社長との対立、数年後には倒産の恐怖におびえるなど、決して順風満帆な日々ではありませんでした。水ノ上氏の実践報告から、同友会のめざす経営と予測不可能な未来へ向けて何から取り組むべきか学びます。

日 曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1 水		企画	
2 木	基礎講座	経営労働	
3 金	新会員オリテ	組織	
4 土			
5 日	〃		
6 月		青年部	G,
7 火	経営フォーラム		J
8 水			
9 木	障全交 in 青森		
10 金	〃	環境経営、地域内連携	
11 土			
12 日			
13 月			
14 火		求人社員教育	
15 水			D,F,S
16 木			P
17 金			A,
18 土			
19 日			
20 月	県理事会		I
21 火	正副		E, ダイア
22 水			K
23 木			B,
24 金	役員研修大学		
25 土			
26 日			
27 月		総務	
28 火		広報	
29 水	支部理事会		
30 木		バリアフリー	
31 金			

A地区会

B地区会

D地区会

E地区会

F地区会

G地区会

I地区会

J地区会

K地区会

P地区会

S地区会

なりたい姿の明確化
～自身、自社を客観視出来てますか？～

日時：10月17日（金）19時00分開会
会場：未定 会費：無料
報告者：喜多村包装（有）喜多村 達也 氏
自己認識から現状分析、そして将来のビジョン描写へと段階的に整理し、最後には「自社のなりたい姿」を社員と共有できているかを問い直します。

メンズ美容王に俺はなる！！

日時：10月23日（木）19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：FLEX 天満 雄志 氏
体験報告では天満氏が自身や自社を見つめなおし皆様に助言をもらいながら経営指針の作成をして決意表明をします。

同友会活動の歩き方を考えよう

日時：10月15日（水）19時00分開会
会場：福山西交流館 会費：無料
報告者：飯金工房カーリベア（株）羽原 由晃 氏
同友会をどのように活用しているか考えた際、過程や思いを含めて指針発表をして、会員さんに刺激を与え、皆さんが積極的に参加出来るような地区会をめざします。

同友会で学んで実践して
何が変わったか！

日時：10月21日（火）19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：フリースタイル（株）今井英尚 氏
2010年に同友会に入会した今井氏。改めて「報告」という場で今井氏が同友会での学び・実践・変化を語り、経営者にとって学びの多い場といたします。

(株) Moana 小川美香さんの体験報告

日時：10月15日（水）19時00分開会
会場：東交流館 会費：無料
報告者：(株) Moana 小川 美香 氏
小川さんの実践から「多様性を受け入れるとは何か」「人を支えるとはどういうことか」を共に考え、気づきと学びをそれぞれの活動に活かしていただければと思います。

「福山支部青年部会 10月例会」へ合流

日時：10月6日（月）19時00分開会
会場：県民文化センターふくやま 会費：無料
報告者：(株) POST 山中 友貴 氏
地区会の参加者を上げる一つのキーワードとして、「若手会員の本会への出席意欲の低下」に注目し、他組織と関わることで、学びの質を上げる場にします。

ここがスゴい！ここが惜しい！
～心理でチェックする我が社の実力～

日時：10月20日（月）19時00分開会
会場：西部市民センター 会費：無料
報告者：(株) サンヨーエム 榎井 氏 (株) 明電 大塚 氏
生成 AI を用いて、つついやってみたいくなる心理テスト風にアレンジしたシートを用いて企業変革支援 PG を完成させようという試みです。

経営フォーラムに参加しよう

日時：10月 7日（火）13時00分開会
会場：リーガロイヤルホテル広島
TKP 広島本通駅前カンファレンスセンター
会費：懇親会まで全参加 12,000 円
基調講演・分科会のみ 4,000 円

「経営の悩み、プロに聞く！」
～明日から使える実践アドバイス～

日時：10月22日（水）19時00分開会
会場：事務局 会費：無料
講師：せとうち経営相談（同）棚田 勇作 氏
資金繰り、人材育成、市場拡大など、地区内の会員さんの業種に絞った明日から使えるアドバイスや、悩み解決の糸口を経営相談のプロ目線でお話して頂きます。

1人の人間として
自分らしく生きていく

日時：10月16日（木）19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：ジェイ・ワークス（株）上堂園 順代 氏
塗装業→看板屋→福祉施設の開設にいたるまで、昔からの自身の夢の実現、生い立ちから現在までの体験を上堂園氏のありのままを聞くことができます。

輝け！ S地区経営者大賞

日時：10月15日（水）19時00分開会
会場：ジーベックホール 会費：無料
報告者：小川浩 氏、守本 氏、油藤 氏
各グループから選出いただいた経営者大賞候補者に、経営実践発表をしていただきます。各社の発表のあと、S地区経営者大賞を決定します。

総務

日時：10月27日（月）19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部活動費執行状況の確認
各地区会例会の企画・報告
全地区合同役員会の企画

組織

日時：10月3日（金）18時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
議題：仲間づくりの進捗確認
新会員オリエンテーション打合せ
※19:00より新会員オリエンテーションを行います。

企画

日時：10月1日（水）19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：9月支部例会の振り返り
11月支部例会の企画
経営者大賞の準備状況

広報

日時：10月28日（火）19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部報 10月号について
支部報 11～12月号の企画編集
今後の支部報について

経営労働

全県共通経営指針基礎講座
「経営方針 Part1」
日時：10月2日（木）19時00分開会
会場：ローズコム中会議室
会費：無料（テキスト代実費）
講師：パンズグリル 小川 尚範 氏

求人社員教育

日時：10月14日（火）18時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：福山工業高校企業ガイダンスの企画
今後の社員研修について
求人活動、社員教育活動の計画

政策

※今月はお休みです

バリアフリー

あいサポート運動勉強会「発達障害とは」
日時：10月30日（木）18時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
発達障害について学び、社員教育にも生かして行きます。バリアフリー委員以外からもぜひご参加ください。

環境経営

日時：10月10日（金）19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：11月勉強会の準備
12月勉強会の進捗確認

地域内連携推進

日時：10月10日（金）19時00分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：環境経営委員会に合流

青年部

信頼される人になる
～ここで変わらなげや変わらない～
日時：10月6日（月）19時00分開会
会場：県民文化センターふくやま 会費：無料
報告者：(株) POST 山中 友貴 氏
山中さんの等身大の「気付き・行動・変化」から学びを得て、自身・自社を良くするきっかけになる例会にしたいと思っています。

女性部

※今月はお休みです

有志の勉強会

ダイヤモンドクラブ
業界の情勢について
日時：10月21日（火）19時00分開会
会場：(有) 大下木型製作所 会費：無料
報告者：参加者全員
自社を取り巻く情勢に対する課題と対策を報告し合います。